

令和2年1月22日

一般社団法人兵庫県建築会  
会 員 各 位

一般社団法人兵庫県建築会  
会長 瀬戸本 淳

第482回月例会のご案内  
テーマ：『日本文化の歴史的特質と現代  
～日本文化の源流としての中国文化をふまえて～』

大寒の候とはいいいながら穏やかに推移していますが、皆様ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より会の事業運営にご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、第482回月例会をご案内申し上げます。

今回のテーマは標記のとおり日本文化の歴史的特質についてのご講演をお聴きします。

講師の清水 稔氏は、プロフィールにありますように、東洋史学をご専門とされています。この度は、近年の報道を賑わすいじめ、恫喝、虐待などの倫理観の欠如ともいえる数々の事件に対し、日本文化が形成された特質を、日本文化の源流としての中国文化と対照させながら、日本で形成された宗教、道徳とは何か、それが失われてきた背景とは何かについてお話を伺います。

日本文化史とともに、職場や家庭の環境づくりに資する大変有意義なお話が伺えると思いますので、是非ご参加をお願いします。

記

- 1 日 時 令和2年3月12日（木） 12：00～14：00
- 2 会 場 神戸三宮東急REIホテル 3階  
(神戸市中央区雲井通6-1-5 電話 078-291-0109)
- 3 テーマ 『日本文化の歴史的特質と現代  
～日本文化の源流としての中国文化をふまえて～』
- 4 講 師 清水 稔氏 : 佛教大学名誉教授（元元同大学副学長）
- 5 その他 会費 3,000円 (会場準備の都合上、キャンセルのお申出が2日前までにない場合は、会費は必要となりますので予めご了承ください。)
- 6 申込期日 令和2年2月5日（水）

講 師 : 清水 稔氏プロフィール

(略 歴)

1945(昭和 20)年 1 月 岐阜市 生  
1967(昭和 42)年 3 月 名古屋大学文学部史学科(東洋史学専攻) 卒業  
1973(昭和 48)年 3 月 名古屋大学大学院文学研究科博士課程(東洋史学専攻)修了  
1975(昭和 50)年 4 月 名古屋大学文学部史学科(東洋史学)助手  
1977(昭和 52)年 4 月 佛教大学文学部史学科(東洋史)専任講師  
1984(昭和 59)年 4 月 華中師範大学辛亥革命史研究室(武漢)にて 1 年間研修  
1991(平成 4)年 4 月 佛教大学文学部史学科(東洋史)教授  
1997(平成 9)年 4 月 佛教大学文学部長兼大学院文学研究科長(4 年間)  
2001(平成 13)年 4 月 佛教大学副学長(通算 10 年間)  
2010(平成 22)年 4 月 学部改組で歴史学歴史学科(東洋史コース)教授に配置換え  
2015(平成 27)年 3 月 定年により佛教大学を退職、4 月より名誉教授

佛教大学在職中、総合研究所、国際交流センター長、四条センター長、入学機構長、通信教育部長、佛教教育学園理事、大学基準協会大学評価分科会主査等を歴任、また愛知大学教養部、京都大学人文科学研究所、名古屋学院大学大学院外国語学科、立命館大学文学部等の非常勤講師を歴任。現在、研究活動のほか佛教大学四条センターで公開講座「激動の近代中国と東アジア」(2019 年)を担当。

(著 書)

『湖南五四運動小史』(同朋舎、1991 年)  
『東洋史概説』(共編著、佛教大学、1990 年)  
「近代日中関係史の一断面」(『佛教大学総合研究所紀要』 1994 年)  
「中国人留学生と日本の近代」(『アジアの中の日本』佛教大学総合研究所、1995 年)  
「外来文化の受容の歴史から見た日本の外国語学習と教育について」  
(英文雑誌〈 Educational Perspectives Vol.43-No1&2〉ハワイ大学マノア校、2010 年)  
「辛亥革命の実像と虚像」(『歴史を学ぶ歴史に学ぶ』佛教大学、2011 年)

※ 『 』〈 〉は単行本又は雑誌名、「 」は論文名